

一般質問Q&A

○ AYA世代の活動に対する考えについて

その他の質問

- ・市内に点在する空地の利用について
- ・勝山勤労青少年体育センター跡地について

※AYA世代：主に15歳から39歳までの世代を指し、学業、就職、恋愛、結婚、出産など、様々なライフイベントが集中する時期

新風会・公明
松本聖司郎 議員



問 県への要望書の最重要項目として恐竜学部の誘致があるが、勝山がAYA世代にとつて頑張れる環境でなければ、来てくれた学生のその後の定住にまで至らない。

答 若い世代が活躍できる環境の創出は、現在、策定準備を進めている第6次勝山市総合計画の重要政策の1つになると考えている。今後、計画策定に向けた市民アンケートや若者世代との意見交換、SNSによる政策提案募集等を通じて、学生や子育て世代、U・Iターン者など若い世代の考えやニーズをしっかりと捉え、意見交換を深めながらより実効性のある政策を進め、若者から選ばれるまちの実現を目指していく。



AYA世代のIターン者が、市内で若テラリウムの体験活動を行っています(中に恐竜が隠れています)

一般質問Q&A

○ 勝山ニューホテル、勝山温泉センター「水芭蕉」の今後の見通しについて

市民の会

富士根信子 議員



問 9月定例会で、5年間で1億5000万円以上の税金を追加し、債務による市民負担が増えることを念頭に置いて何う。運営面や財政面の見通し計画があると思うので、健全で適切な税金の運用であると市民に伝えることができるように説明を求める。

答 観光の産業化を進める勝山市において、勝山ニューホテルは市内の中核宿泊施設として、勝山温泉センター「水芭蕉」は観光客のみならず市民の憩いの場としても重要な施設であり、9月定例会で指定管理料の債務負担行為額を増額する予算案を上程し、議決をいただいた。その根拠となる今後の収支予測は7月13日の全員協議会で示しており、勝山ニューホテルは令和5年度に、水芭蕉は令和6年度に黒字化を見込んでいく。

問 5年後に経営不振で赤字になった場合、1つの企業、会社の借金を肩代わりするのか。

答 観光の産業化を進める勝山市において、勝山ニューホテルは市内の中核宿泊施設として、勝山温泉センター「水芭蕉」は観光客のみならず市民の憩いの場としても重要な施設であり、9月定例会で指定管理料の債務負担行為額を増額する予算案を上程し、議決をいただいた。その根拠となる今後の収支予測は7月13日の全員協議会で示しており、勝山ニューホテルは令和5年度に、水芭蕉は令和6年度に黒字化を見込んでいく。

問 勝山ニューホテルと水芭蕉の指定管理はどこまでが市の責任か問う。

答 両施設とも、勝山市と指定管理者が協力し、観光客や市民の皆様が愛される施設として更なるサービスの向上を図り、健全な運営を目指していく。

問 企業赤字を補填するということではなく、経営状況はそれまでに明らかにするので、その都度協議していくことになる。

答 現在、勝山ニューホテルは、10月の実績で前年比85%まで回復し、また現在整備している恐竜ルーム4室も予約が好調で、1月末までの祝休日の前日はほぼ満室である。

問 市と指定管理者が結んでいる基本協定に記載する範囲。